

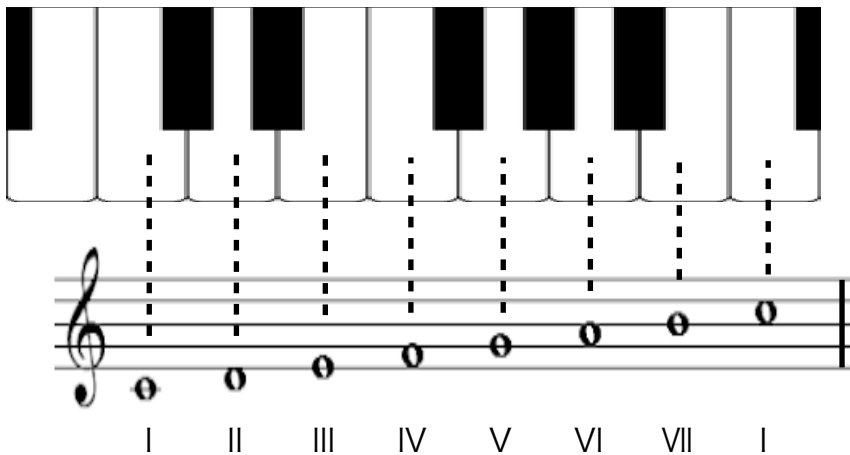
第1回「楽典」解説

I 次の音階を調号を使って書きなさい。

この課題では調号を使っての解答となる。折角なので音階の構造から学んでみよう！

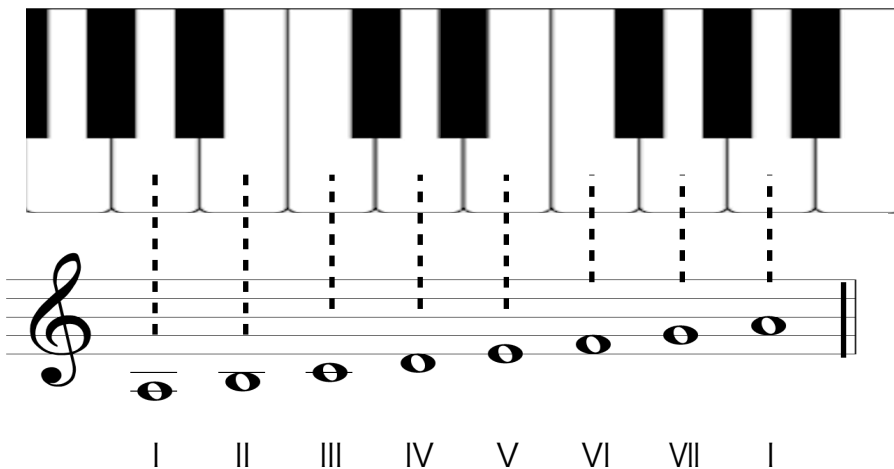
音階には「**長音階**」と「**短音階**」があり、**短音階**には「自然短音階」「和声短音階」「旋律短音階」の**3種類**がある。ややこしいね！

○ まずは長音階の八長調 (C:) から



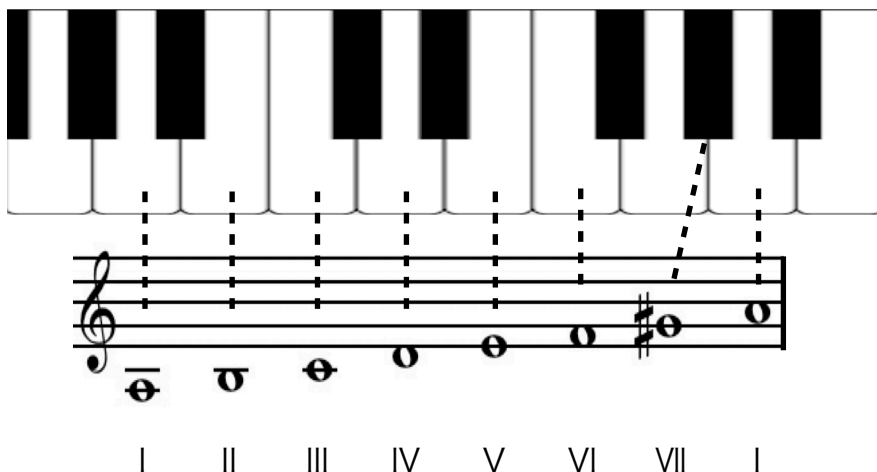
長音階はIIIとIV、VIIとIの間が半音（短2度）、その他の各音間が全音（長2度）で構成されている音階である。つまり、全-全-半-全-全-全-半という間隔。さあ一緒に言ってみよう！「**ゼンゼンハンゼンゼンゼンハン!**」

○ 次にイ短調 (a moll) の自然短音階



自然短音階はIIとIII、VとVIの間が半音、その他の各音間が全音で構成されている音階で**短音階の基本**となる。各音間は全-半-全-全-半-全-全。「**ゼンハンゼンゼンハンゼンゼン**」と覚えよう！（声に出そう！）

○ 次にイ短調 (a moll) の和声短音階



和声短音階は自然短音階のVIIを半音上行変化させてできた音階である。

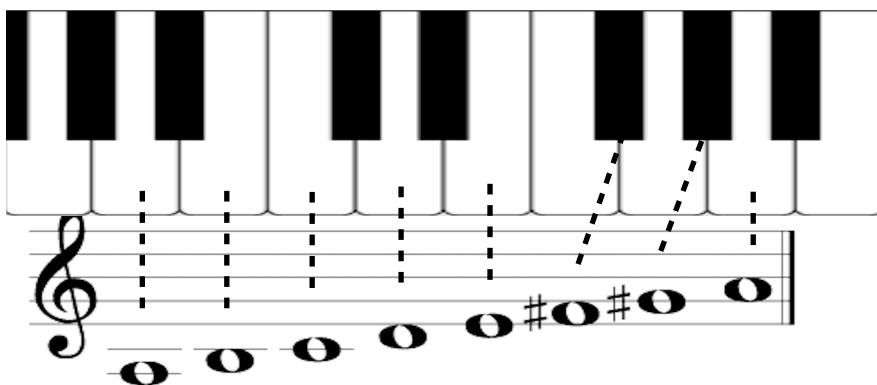
各音間は全-半-全-全-半-増-半。

さあ一緒に！「**ゼンハンゼンゼンハンゾウハン！**」

ん？聞こえないなあ。もう一度！！

「**ゼンハンゼンゼンハンゾウハン！！**」

○ 最後にイ短調 (a moll) の旋律短音階 (上行)



旋律短音階は上行形と下行形とで異なる。上行形は自然短音階のVIとVIIを半音上行変化させてできた音階で、下行形は自然短音階と同じである。

各音間は全-半-全-全-全-全-半。

「**ゼンハンゼンゼンゼンゼンハン！！！！**」

調号を使って示す場合も、短調では臨時記号が必要。(自然短音階以外)
各音間の音程について、ここで覚えた事を呪文の様に唱えてしっかりと確認すること。

II 次の音程は何度か答えなさい

幹音間の度数と種類の関係を表に示す。

あとは単純に2音間の音程を数え、表と照らし合わせて欲しい。

○ 完全系：1度、4度、5度、8度

○ 長短系：2度、3度、6度、7度

度数 \ 半音	なし	1個含む	2個含む
1度	完全 (同音)		
2度	長	短	
3度	長	短	
4度	増 (3全音)	完全	
5度		完全	減
6度		長	短
7度		長	短
8度			完全

注：幹音間の半音はe ↔ f (ミ ↔ ファ) , h ↔ c (シ ↔ ド) の2箇所である。

III 次の記号の読み方と意味を書きなさい。

楽語は出てきた時に覚える癖をつけておきましょう。

吹奏楽、器楽合奏、合唱等で配布される楽譜には数多くの音楽記号や楽語が出てきます。一度に覚えようとせず、毎回少しずつ、日々の積み重ねで！

全部解いたら見直ししよう！！